



昨年のグループ研修「梅瘡」の実習風景

Zoom用いた参加型講座に

薬学ゼミナール生涯学習センターは、今年度の生涯学習プログラムからウェブ会議システム「Zoom」を利用し、全国8拠点のほか受講者の自宅をつないで講師と受講者のライブ配信による双方での参加型講座を開始した。新型コロナウイルス感染症拡大による影響で集合講座での開催が危ぶまれる中、学習環境をいち早く

薬学ゼミナール生涯学習センター

同センターの生涯学習講座は、新型コロナウイルス感染症による影響で3~4月のプログラムを中止するなどの対応に迫られた。さらに、新型コロナウイルス感染症で各種学会が中止となっていたことから、知識を得る場がなくなっている薬剤師を対象に、まず早急の対応として過去に実施した生涯学習講座を無料で

配信して、学修の場を提供するなどの支援策を実施した。コロナ禍で自宅から受講できる生涯学習講座を模索していたところ、Zoomを利用したライブ配信による講座に行き着いた。6月に実施した筑波大学の前野哲博教授による「薬剤師に求められる症状対応」では、講師による講義だけでなく、グループワークも取り入れ受講者同士がコミュニケーションを取り合いながら、知識を得ることができる。ライブ配信講座の新たなスタイルを築いた。



木暮氏

同講座では、薬剤師が患者から必要な情報を聞き取り、OTC医薬品の提供がよいか、医師への受診勧奨を行う方がよいかを臨床的に判断する症候診断がテーマだ。今回で充実するなどの対応を講義で修得した単位についても猶予期間を設ける。既に今年6月末までに認定期間の満了を迎えた人には、単位取得期間を最大3カ月延長することを決めているが、来年3月末までに現在の認定期間が満了を迎える人についても、認定単位の取得期間を最大3カ月延長することとした。さらに追加措置として、全ての受講者に対して、申請により受講期間の延長を1年間認めることとした。

6月に実施したライブ配信による講座では、受講者の高い参加意識からグループワークでの活発な議論が生まれ、高い満足度が得られた。木暮喜久子センター長は、「座学とウェブを組み合わせた生涯学習プログラムで成功事例を作りたい」と話す。

問診している事例が示されておられ、各症例での医師や薬剤師と患者のやりとりから、▽可能性の高い疾患とその理由▽鑑別すべき疾患とその理由▽さらに集めたい病歴や今後の対応―など受講者はあらかじめ考えをまとめてウェブ上に提出し、本講座に参加した。当日の講座では、受講者を13チームに分け、事前課題で示された各症例についてグループワークで検討。各チームからの発表が行われた後には前野氏からしびれ・腰痛からどんな原疾患が考えられるか、どこに気を付けて情報を収集すべきかなどのポイント解説が行われた。木暮氏は、「これまで集合講座で実施していたグループワークでは、自分が持っている知識でしか意見を言うことができなかったが、今回は事前課題があったため、受講知識をおさらいするということもでき、講義と指導薬剤師による市内4薬局での調剤業務一般(処方箋応需から服薬説明まで)を経験する。10月19日に導入講義を行い、20日から23日にかけて実地研修を実施。26日にまとめの講義を行う。

小林氏は、「コロナ禍で実技を学ぶ機会がだいぶ減っている。できる限りその機会を確保したいと考えているので、少しでも多くの人に参加してもらいたい」と呼びかけた。コンテンツである「超デキるかかりつけ薬剤師プログラム」の一つで、このプログラムの合計21単位を取得することで、かかりつけ薬剤師指導料同意書の研修欄に記入できる修了書が発行される。今後も集合講座に加え、ウェブでのライブ配信、自己学習のeラーニングと選択肢が増え、コロナ禍でも継続した生涯学習講座を展開する。

し、受講のしやすさにも配慮した。これまでグループ研修所における薬剤師の対応などについて講義する。小林氏は、「トータル4回のうち、同じ内容を2回話すようにして参加できる機会を増やした」と話している。第1回の開催が9月2日の「薬局薬剤師のための感染制御」を例に挙げると、締め切りは1カ月前の8月3日になる。同大学では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で集合研修の中止、延期が相次いでいる状況を踏まえ、生涯研修認定制度について特別措置を講じることにした。まず、登録料について、今年度の認定制度の受講に当たっては、予定していた薬剤師生涯教育講座が中止となることから無料にした。また、薬剤師生涯教育講座の受講申し込み時に登録料を支払済みの場合は、返金せずに原則として来年度分の生涯研修認定制度の登録料として充当するなどの対応を行う。

薬学ゼミナール生涯学習センター

～タスクシフティングを目指して～

超デキるかかりつけ薬剤師プログラム開講中

(筑波大学 × 薬ゼミ産学共同研究開発) 総合診療科 前野哲博先生監修

8月1日(土) WEB生配信

薬剤と口腔疾患

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
口腔顎顔面外科学分野
比地岡浩志先生

8月23日(日) 池袋教室、他6教室でLive配信(予定)

感染症・抗菌薬について

東京大学医学部附属病院
薬剤部 薬剤主任
高山和郎先生

新型コロナウイルス感染症と闘う全ての医療従事者の方に心から感謝申し上げます。

一般社団法人 **薬学ゼミナール生涯学習センター**

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会 長井記念館ビル 8階

<http://www.yakuzemi-shougai.jp>